

[証券コード6155] **高松機械工業株式会社**

## 第48期 株主通信

平成20年4月1日から平成21年3月31日

# TAKAMIZ

# 株主の皆様へ



## トップに訊く——The President Talks

逆境を好機と捉え、  
より強い企業体質の構築を  
進めています。

### Q 第48期を振り返ってみて いかがでしたか。

**A** 第48期を振り返りますと、リーマンショックに始まるアメリカ発の金融危機が日本の実体経済に多大な悪影響を及ぼしました。輸出や生産が減少することによって企業活動が収縮し、雇用調整が実施されるなど、国内景気は急速に悪化してきました。

当社グループの主力事業であります工作機械業界でも、世界景気の悪化が直撃したことで続いてきた好況から急転し、企業の設備投資計画凍結や延期等によって、受注が大きく減少したばかりか大量のキャンセルも発生するなど、期末には先行きがまったく不透明な状態に移り変わりました。業界の受注実績を見ますと、平成21年1月には日本工作機械工業会における受注額統計上の比較可能な時点（昭和63年1月）以降では初めてとなる単月受注総額200億円割れを記録するなど大きく落ち込み、平成21年3月期受注総額は、上期では前年同期比7.5%減であっ

た実績が、通期では9,690億円にとどまり、同39.2%減となりました。

### Q この1年間に会社が行ってきたことおよび 業績結果についてお聞かせ下さい。

**A** 工作機械事業では、受注対策として販売戦略を積極的に進めてきました。国内外の展示会等への積極的な出展、本社工場での「創業60周年記念プライベート・ショー」開催、「創業60周年記念 決算特別価格キャンペーン」の実施などによって、需要の喚起をはかってきました。業界の平均外需比率よりも当社グループの比率が低いので、海外市場を拡大していくために海外拠点の拡充を進め、海外新規ディーラの開拓による海外販売チャンネル拡大をはかってきたほか、平成21年3月にはヨーロッパにTAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbHを設立するなど、海外サービス体制の強化に注力してきました。

利益確保に対しましては、仕入れや作業効率の見直しに

CIMT2009 (中国・北京)



よるコスト削減や経費削減を実施するとともに、原価低減プロジェクトを発足して活動を推進してきました。また、将来の成長への取り組みも進め、事業拡大および原価低減の一環として金属板金加工事業の譲受による一部板金内製化の実施や新工場用地の取得を行いました。

IT関連製造装置事業では、売上高の確保をはかってきました。新規取引先の開拓を積極的に行うとともに、既存取引先へのフォローアップを強化してきたほか、液晶・半導体以外の新規分野の開拓にも取り組んできました。また、受注案件を増やすための技能向上やVA活動による製造コストの低減、納期短縮などの生産能力の増強を行ってきました。

その他の事業で、自動車部品加工事業において自動車の需要低迷や生産調整から生産量が減少してきておりますが、安定生産・安定供給を継続して行うことで生産高を確保し、営業活動を積極的に進めることで新規受注の確保に取り組んできました。なお、主に社員に対する福利厚生の一環として行ってきました生・損保代理店事業は、事業譲渡を行い業務を終了しております。

以上のように当社グループは活動を続けてきましたが、急激な景気の減速は当社グループ主力ユーザである自動車関連業界に急速な在庫調整や大幅な減産を余儀なくされ、過去類を見ない程に設備投資意欲が冷え込みましたことで、設備投資凍結や延期、さらにはキャンセル機が発生した影響が大きく、工作機械受注高は、61億56百万円（前年同期比51.4%減）と大きく減少し、売上高は124億5百万円（同23.5%減）の減収となりました。

利益におきましては前述の対策のほか、残業の抑制、一時帰休、役員報酬および従業員給与の削減を行うなど、利益確保に向けた対策を実施しましたが、急激に経済環境が変化してきましたので、営業利益3億82百万円（同81.9%減）、経常利益4億34百万円（同80.2%減）、当期純利益1億83百万円（同85.8%減）の減益となりました。

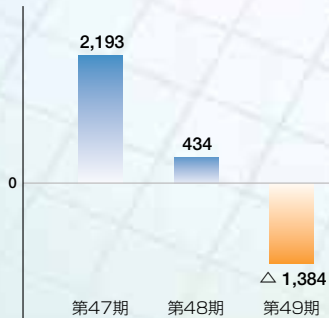
# 株主の皆様へ

## ■第49期の連結業績見込み (単位：百万円)

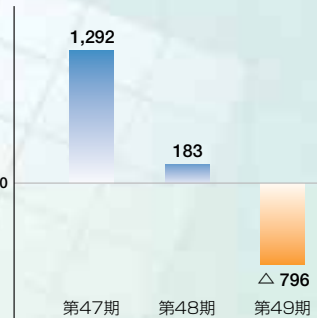
### ●売上高



### ●経常利益



### ●当期純利益



## Q 第49期の業績見込みについてお聞かせ下さい。

**A** 今後の日本経済は、企業の急速な減産の動きなどが雇用の大幅な調整につながる懸念されており、当面悪化が続くと考えられます。また、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念など、景気をさらに下押しするリスクも存在するとみられております。

工作機械業界でも、企業の在庫調整が進み、生産量が徐々に回復してくると思われるものの、落ち込み前の水準に戻るほど国内外の需要が上がらないと見込まれ、受注環境の低迷が続く、非常に厳しい環境になると思われます。

このように経済環境の低迷が続く見込みから、第49期は売上高68億1百万円、営業損失14億32百万円、経常損失13億84百万円、当期純損失7億96百万円と厳しい状況を反映した業績を見込んでおります。

## Q この不況の中、厳しい状況を乗り越える戦略をお聞かせ下さい。

**A** 厳しい状況ではありますので受注確保が必須と考えており、そのためにサービスの強化を推進します。ユーザへの巡回訪問を行い、製造部門社員も同行することで、製品のサービス・メンテナンスやソリューション提案を実施します。この活動により素早い情報収集もはかります。

また、海外需要取り込みのために、子会社・関連会社との連携を密にして市場拡大をはかっていきます。インド市場への進出、自動車の潜在的ニーズが高いと見込まれる中国市場への対応を進めていくほか、ヨーロッパでは新たに設立したTAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbHとともに営業活動を強化し、新規ディーラの開拓による販売ネットワークの拡大により、受注の確保に努めます。

前期よりも売上高が減少する見込みであることから、生



平成21年3月に設立しましたドイツ現地法人のGMとドイツ駐在所の皆さんです。取引先の社長も一緒にいます。ヨーロッパでの営業活動を強化します。



当社の金属板金加工を行う横江工場の風景写真です。板金部品はすべて外部より調達していましたが、昨年10月より当社で一部内製化しております。

産管理システムの全面的見直しや最適化調達の実施、プロジェクトチームによる開発段階からの原価低減活動など、全社をあげてコスト・経費削減に取り組み、ムダを省く企業活動に努めます。

IT関連製造装置事業では、液晶・半導体業界の既存取引先へアプローチを継続していきますが、低迷が続くと見込まれることから、新規開拓をはかり、積極的な営業活動で需要の見込める業界からの受注獲得を目指します。

自動車部品加工事業では、売上高を確保していくためにも、引合案件を受注に結び付けるための営業活動を推進するとともに、利益を確保していけるようにコスト削減、生産効率の向上をはかります。

## Q 最後に株主の皆様 一言お願いします。

A 世間では100年に1度とも表現されるくらいに景気が低迷しており、当社グループでもその影響を強く受けました。特に自動車販売の低迷による自動車関連業界の設備凍結・延期により、当社グループの受注が激減し、生産も大きく低下しております。その結果、第49期では第34期以来となる赤字決算を見込むことになりましたので、誠に遺憾ながらも第49期の配当は無配とさせていただきます予定であります。

しかし前述のとおり、当社グループはさまざまな施策を執行うとともに、この逆境を好機と捉え、より強い企業体質の構築と企業価値向上に向けてグループ一丸となって邁進し、将来の飛躍に向けて突き進んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ご理解・ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。



## 全国ディーラ会議

平成21年度全国ディーラ会議を平成21年5月14日に当社で開催しました。

本社工場にて、新製品の発表をはじめ、ディーラの皆様に高精度・高品質、そしてローコストを実現した製品をアピールしました。

その後の会議では、今年度の営業方針や、当社グループの製品説明が行われ、最後の質疑応答では、最近の業界は低迷していますが、質問や意見、要望が数多くあげられ、活気のある会議となりました。

当社はディーラの意見は、お客様の意見と考えており、その意見を取り入れることで、お客様の要望に応えていきます。

(掲載の写真3枚は全国ディーラ会議にて展示された製品です。)



「X-S700」(新製品)



「VSC-7」



「QM-32SA」



## MEX金沢2009

平成21年5月21日～23日の3日間、今回で47回目となる機械工業見本市のMEX金沢2009が開催されました。

今回、当社は新製品を含む6機種を出展しました。新製品の「X-S700」はお客様の要望から開発したエンジン部品のシャフト加工に特化したCNC旋盤です。

また、昨年から販売を始めた友嘉グループ(台湾)製のマシニングセンタ「QM-32SA」の自動化ラインやエマグ社(ドイツ)製旋盤「VSC-7」も展示し、豊富なラインナップを見ていただきました。

取扱い製品の幅を広げることで新たなお客様を開拓し、収益の安定をはかっていきます。



## 創業60周年記念 家族工場見学会

当社の創業60周年を記念し、昨年11月に、従業員の家族向けに工場見学会を行いました。

500名を超える家族が来社され、役員先導による工場・職場案内により、実際の家族の職場や仕事ぶりを見ていただきました。

ほとんどの方々が、初めて工作機械を目にして、非常に興味を持った様子で、さまざまな質問もありました。

また、大抽選会などを実施し、こちらも大変熱のこもった催し物となりました。

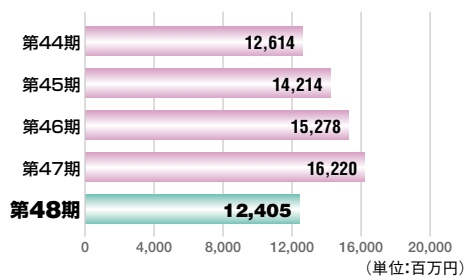
家族の皆様には、当社への理解を深める良い機会を提供できたと思っております。

# 業績の推移

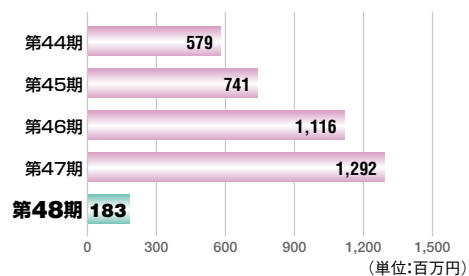
## 連結業績ハイライト

科目	第44期 (平成16年度)	第45期 (平成17年度)	第46期 (平成18年度)	第47期 (平成19年度)	第48期 (平成20年度)
売上高 (百万円)	12,614	14,214	15,278	16,220	<b>12,405</b>
営業利益 (百万円)	1,081	1,300	2,031	2,109	<b>382</b>
経常利益 (百万円)	1,084	1,322	2,048	2,193	<b>434</b>
当期純利益 (百万円)	579	741	1,116	1,292	<b>183</b>
純資産額 (百万円)	5,316	6,108	8,230	9,349	<b>9,234</b>
総資産額 (百万円)	12,152	13,029	15,416	16,184	<b>12,670</b>
1株当たり当期純利益 (円)	58.76	74.16	104.36	119.04	<b>17.02</b>
1株当たり純資産額 (円)	561.47	626.75	759.22	858.91	<b>857.72</b>

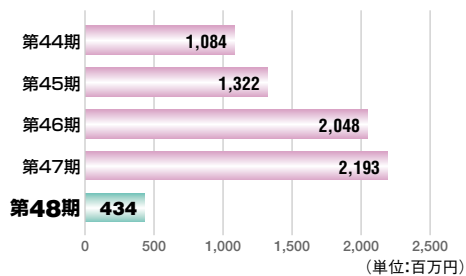
### ●売上高



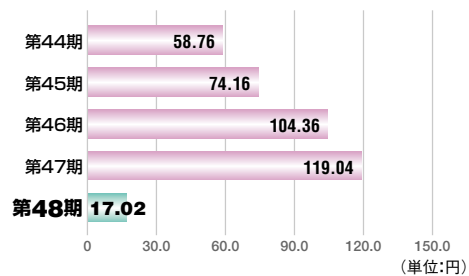
### ●当期純利益



### ●経常利益



### ●1株当たり当期純利益

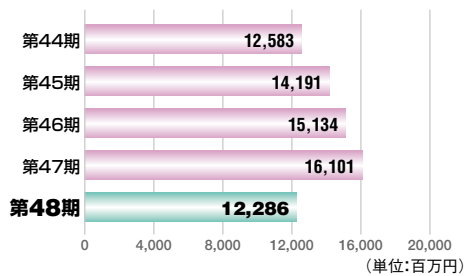




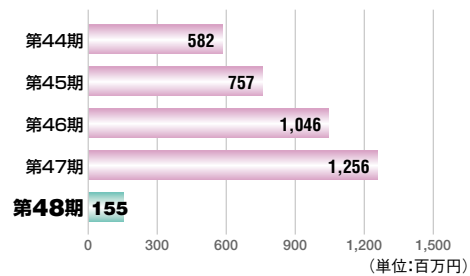
## 単独業績ハイライト

科 目	第44期 (平成16年度)	第45期 (平成17年度)	第46期 (平成18年度)	第47期 (平成19年度)	第48期 (平成20年度)
売上高 (百万円)	12,583	14,191	15,134	16,101	12,286
営業利益 (百万円)	1,084	1,307	1,932	2,114	370
経常利益 (百万円)	1,088	1,330	1,941	2,163	448
当期純利益 (百万円)	582	757	1,046	1,256	155
純資産額 (百万円)	5,290	6,098	8,148	9,230	9,117
総資産額 (百万円)	12,109	13,012	15,274	16,017	12,478
1株当たり当期純利益 (円)	59.14	75.90	97.78	115.76	14.35
1株当たり純資産額 (円)	558.66	625.73	751.69	847.90	846.81

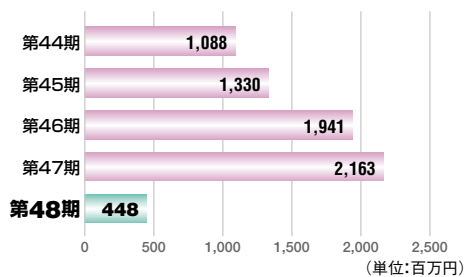
### ●売上高



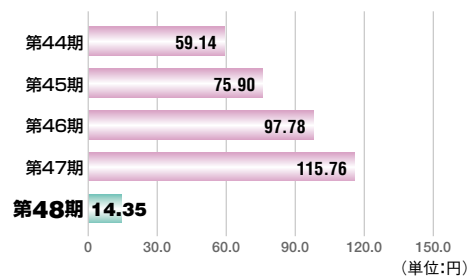
### ●当期純利益



### ●経常利益



### ●1株当たり当期純利益



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,655</b>	<b>11,388</b>
現金及び預金	2,853	3,494
受取手形及び売掛金	2,996	5,821
たな卸資産	—	1,782
商品及び製品	240	—
仕掛品	492	—
原材料及び貯蔵品	718	—
繰延税金資産	132	239
その他	224	68
貸倒引当金	△ 3	△ 17
<b>固定資産</b>	<b>5,014</b>	<b>4,796</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,201</b>	<b>4,064</b>
建物及び構築物	1,248	1,315
機械装置及び運搬具	892	868
工具、器具及び備品	148	168
土地	1,522	1,522
建設仮勘定	389	190
<b>無形固定資産</b>	<b>55</b>	<b>2</b>
のれん	53	—
電話加入権	2	2
その他	—	0
<b>投資その他の資産</b>	<b>757</b>	<b>728</b>
投資有価証券	418	422
長期貸付金	—	4
従業員に対する長期貸付金	2	3
保険積立金	123	110
その他	217	201
貸倒引当金	△ 3	△ 12
<b>資産合計</b>	<b>12,670</b>	<b>16,184</b>

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,712</b>	<b>6,125</b>
支払手形及び買掛金	1,940	4,610
短期借入金	478	487
未払法人税等	—	492
未払消費税等	—	45
賞与引当金	70	165
役員賞与引当金	20	36
製品保証引当金	22	18
その他	181	270
<b>固定負債</b>	<b>723</b>	<b>709</b>
長期借入金	—	48
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	463	460
役員退職慰労引当金	226	189
その他	33	11
<b>負債合計</b>	<b>3,436</b>	<b>6,835</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>9,183</b>	<b>9,251</b>
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,834
利益剰余金	5,637	5,637
自己株式	△ 121	△ 55
<b>評価・換算差額等</b>	<b>9</b>	<b>79</b>
その他有価証券評価差額金	28	67
為替換算調整勘定	△ 19	11
<b>新株予約権</b>	<b>41</b>	<b>18</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,234</b>	<b>9,349</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,670</b>	<b>16,184</b>

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.前連結会計年度において「たな卸資産」として表示されたものは、当連結会計年度より「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」に区分表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売上高	12,405	16,220
売上原価	9,726	11,760
売上総利益	2,679	4,459
販売費及び一般管理費	2,296	2,350
営業利益	382	2,109
営業外収益	94	102
営業外費用	42	18
経常利益	434	2,193
特別利益	31	13
特別損失	1	2
税金等調整前当期純利益	464	2,204
法人税、住民税及び事業税	178	919
法人税等調整額	102	△ 7
少数株主損失(△)	△ 0	△ 0
当期純利益	183	1,292

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成20年3月31日残高	1,835	1,834	5,637	△ 55	9,251	67	11	79	18	0	9,349
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 184		△ 184						△ 184
当期純利益			183		183						183
自己株式の取得				△ 71	△ 71						△ 71
自己株式の処分		△ 0		5	4						4
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 38	△ 31	△ 70	22	△ 0	△ 48
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	△ 0	△ 65	△ 67	△ 38	△ 31	△ 70	22	△ 0	△ 115
平成21年3月31日残高	1,835	1,833	5,637	△ 121	9,183	28	△ 19	9	41	0	9,234

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	410	2,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	470	△ 1,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 308	△ 473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16	△ 3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	556	308
現金及び現金同等物の期首残高	1,159	851
現金及び現金同等物の期末残高	1,715	1,159

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単独財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第48期 (平成21年3月31日現在)	第47期 (平成20年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,533</b>	<b>11,276</b>
現金及び預金	2,731	3,428
受取手形	1,157	1,930
売掛金	1,881	3,884
製品	—	249
商品及び製品	234	—
原材料	—	607
仕掛品	492	864
貯蔵品	—	26
原材料及び貯蔵品	698	—
前渡金	7	17
前払費用	14	13
関係会社短期貸付金	—	5
未収還付法人税等	136	—
繰延税金資産	123	230
その他	59	35
貸倒引当金	△ 3	△ 17
<b>固定資産</b>	<b>4,944</b>	<b>4,741</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,190</b>	<b>4,042</b>
建物	1,221	1,281
構築物	25	30
機械及び装置	880	848
車両運搬具	6	7
工具、器具及び備品	144	162
土地	1,522	1,522
建設仮勘定	389	190
<b>無形固定資産</b>	<b>55</b>	<b>2</b>
のれん	53	—
電話加入権	2	2
<b>投資その他の資産</b>	<b>698</b>	<b>696</b>
投資有価証券	262	323
関係会社株式	100	77
出資金	5	5
長期貸付金	—	4
従業員に対する長期貸付金	2	3
破産更生債権等	4	18
保険積立金	123	110
繰延税金資産	70	39
その他	133	126
貸倒引当金	△ 3	△ 12
<b>資産合計</b>	<b>12,478</b>	<b>16,017</b>

(単位：百万円)

科目	第48期 (平成21年3月31日現在)	第47期 (平成20年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,641</b>	<b>6,078</b>
支払手形	1,722	3,387
買掛金	148	1,184
短期借入金	430	230
1年内返済予定の長期借入金	48	257
未払金	39	141
未払費用	69	84
未払法人税等	—	491
未払消費税等	—	45
賞与引当金	70	165
役員賞与引当金	20	36
製品保証引当金	22	18
設備関係支払手形	50	11
その他	18	25
<b>固定負債</b>	<b>719</b>	<b>709</b>
長期借入金	—	48
退職給付引当金	459	460
役員退職慰労引当金	226	189
関係会社事業損失引当金	33	11
長期預り金	0	0
<b>負債合計</b>	<b>3,360</b>	<b>6,787</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>9,047</b>	<b>9,143</b>
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,834
資本準備金	1,776	1,776
その他資本剰余金	56	57
利益剰余金	5,500	5,529
利益準備金	95	95
その他利益剰余金	5,404	5,434
自己株式	△ 121	△ 55
<b>評価・換算差額等</b>	<b>28</b>	<b>67</b>
その他有価証券評価差額金	28	67
<b>新株予約権</b>	<b>41</b>	<b>18</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,117</b>	<b>9,230</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,478</b>	<b>16,017</b>

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.当事業年度より「製品」は「商品及び製品」、「原材料」と「貯蔵品」は「原材料及び貯蔵品」に表示を変更しております。

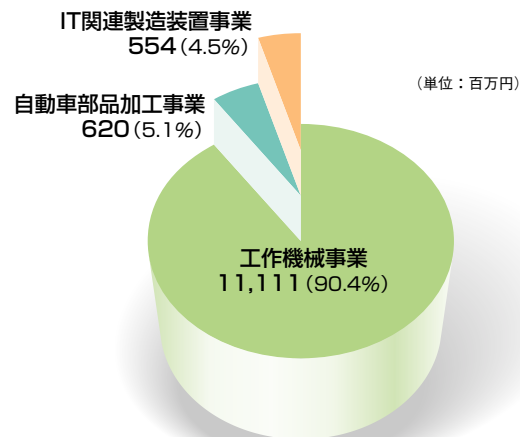
## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	第48期	第47期
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売上高	12,286	16,101
売上原価	9,672	11,725
売上総利益	2,614	4,375
販売費及び一般管理費	2,243	2,260
営業利益	370	2,114
営業外収益	94	64
営業外費用	15	16
経常利益	448	2,163
特別利益	31	8
特別損失	49	9
税引前当期純利益	431	2,162
法人税、住民税及び事業税	173	912
法人税等調整額	102	△ 6
当期純利益	155	1,256

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体売上高構成比 (事業別)



## 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金			評価・換算 差額等合計
	資本 準備金	その他資本 剰余金	利益 準備金	その他利益 剰余金							
平成20年3月31日残高	1,835	1,776	57	95	5,434	△ 55	9,143	67	67	18	9,230
事業年度中の変動額											
剰余金の配当					△ 184		△ 184				△ 184
当期純利益				155			155				155
自己株式の取得						△ 71	△ 71				△ 71
自己株式の処分			△ 0			5	4				4
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)								△ 38	△ 38	22	△ 16
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 0	—	△ 29	△ 65	△ 96	△ 38	△ 38	22	△ 112
平成21年3月31日残高	1,835	1,776	56	95	5,404	△ 121	9,047	28	28	41	9,117

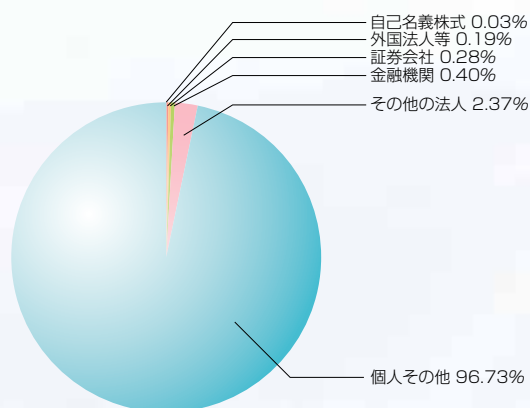
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

## 株式の状況

- ①発行可能株式総数 ……30,000,000株
- ②発行済株式総数 ……11,020,000株
- ③1単元の株式数 ……100株
- ④株主数 ……3,159名

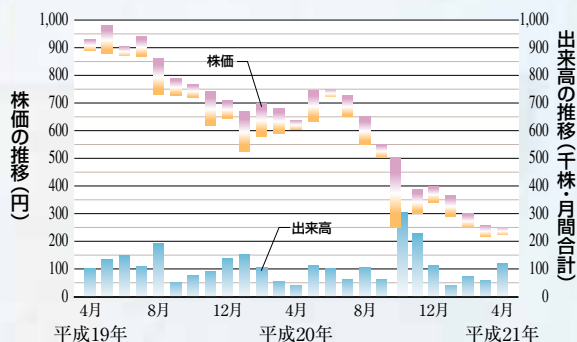
## 所有者別分布状況



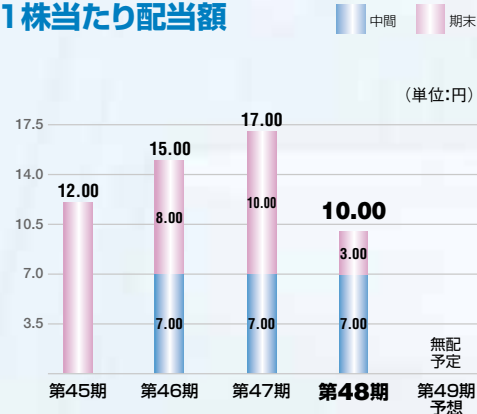
## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持比率(%)
高松喜与志	1,117	10.14
高松機械工業取引先持株会	486	4.42
日本生命保険相互会社	480	4.36
北国総合リース株式会社	433	3.93
高松機械工業社員持株会	425	3.86
株式会社北国銀行	408	3.70
三井住友海上火災保険株式会社	408	3.70
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
高松明毅	332	3.02
株式会社朝日電機製作所	330	2.99

## 株価インフォメーション



## 1株当たり配当額



## 会社概要

商号 高松機械工業株式会社  
 設立 昭和36年7月  
 資本金 18億3,539万円  
 本社 石川県白山市旭丘1丁目8番地  
 従業員数 386名  
 子会社および関連会社 TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC.  
 TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.  
 TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH  
 株式会社タカマツエマグ  
 杭州友嘉高松機械有限公司  
 株式会社エフ・ティ・ジャパン  
 ホームページアドレス <http://www.takamaz.co.jp>



本工場 (工作機械事業)



第2工場 (コレットチャック生産)



第3工場 (自動車部品加工)

## 役員 (平成21年6月24日現在)

代表取締役社長	高 喜与志
常務取締役 (生産本部担当)	松田 充夫
常務取締役 (営業本部担当)	前田 西平
常務取締役 (管理本部担当)	中西 清安
取締役 (営業本部副本部長兼国内営業部長)	溝川 上義
取締役 (品質保証部長)	川上 隆
取締役 (生産本部副本部長兼製造部長)	水宮 西川
取締役 (営業本部海外営業部長)	徳野 西川
取締役 (生産本部生産管理部長)	中川 積進
取締役 (社外)	池 祐一
常勤監査役 (社外)	砂 友和
常勤監査役	池 上佳
監査役 (社外)	鍛 敏弘

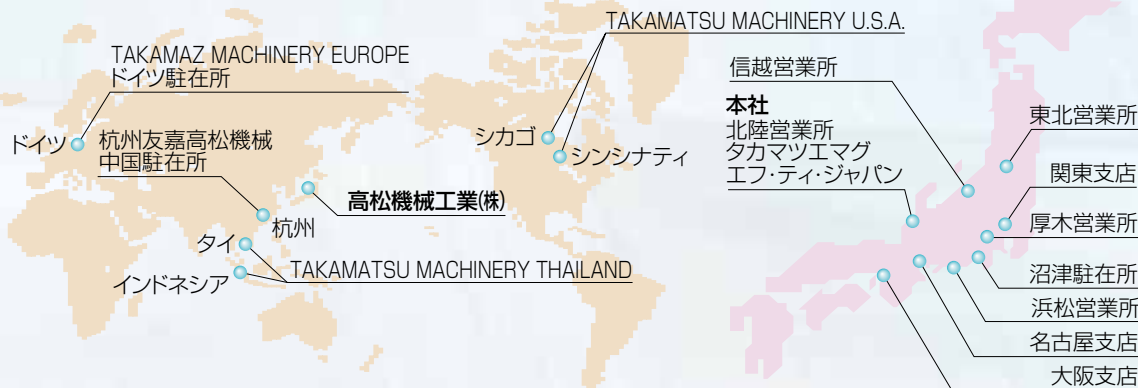


当社は「品質」および「環境」マネジメントシステム「ISO9001」・「ISO14001」を認証取得しており、お客様に満足の得られる商品を提供し、地球環境の保全にも積極的に取り組んでいます。



開発センター (IT関連製造装置)

## ネットワークとサービス体制



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月中  
株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日  
(2) 期末配当金 3月31日  
(3) 中間配当金 9月30日  
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および  
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社ホームページに掲載  
<http://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部  
TEL 076-274-1411(直通)  
FAX 076-274-1418

## ホームページについて

<http://www.takamaz.co.jp>

より多くの皆様に当社をご理解いただくために、会社概要をはじめ、決算情報等をホームページに掲載しております。



**TAKAMAZ**  
高松機械工業株式会社



このパンフレットは再生紙を使用しています。